

平成23年9月16日

お世話になった皆様へ

三重県高等学校体育連盟  
陸上競技部 委員長 向井 俊哉

## 伊藤瑞希(四商) 200mで意地見せる 諏訪達郎(四工) 高校トップレベルの仲間入り

平成23年度全国高等学校総合体育大会(2011北東北総体)について(報告と御礼)

厳しい夏のすぐ後に、大きな台風が通過していきました。この度の台風で、三重県南部地方を中心に大きな被害が出てしまいました。被害にあわれた方々に対して、心よりお見舞い申し上げます。

さて、今年度の全国高校総体は8月3日より8月7日までの5日間、岩手県・北上総合運動公園にて開催され、三重県勢は、男女合わせて、13校から51名(去年は13校48名)が出場し、第2位1種目、第3位1種目、第5位2種目、第6位1種目、第7位1種目、第8位3種目の9種目、11名(去年は8種目、7名)の入賞者を出すことができました。(詳細は別紙の通り)

昨年の中継総体で「三重の高二トリオ」と謳われたメンバーの伊藤瑞希さん(四日市商)は向い風で苦しんだ100mの悔しさを200mで見事に晴らしました。昨年の100mHで第2位となった辻彩美さん(桑名)は今年も第3位に入り、二年連続で上位入賞を果たしています。もう一人の橋爪咲奈さん(宇治山田商)は200mで第8位に入賞。この大会の後、ようやく本来の動きが復活しつつあり、東海選手権では、北上総体のチャンピオンを下して優勝しています。「三重の高三トリオ」の山口国体での大活躍を期待しています。

今年も昨年に引き続き、二年生(今年は男子カルテット)が活躍してくれました。そのうちの一人が、激戦の短距離で上級生と堂々と渡り合い、二種目で入賞を果たした諏訪達郎君(四日市工)です。7月の世界ユース選手権に出場し、入賞こそ逃しましたが、貴重な体験をしたことで、競技者としての器が飛躍的に大きくなりました。200m準決勝での「直線に抜け出す時の加速力」は目を見張るものがありました。また、速さだけでなく、接戦の中でも実力を発揮できる強さも身につけ、日本の高校生のトップレベルに名実ともに仲間入りできました。

諏訪君と同じく世界ユース選手権に出場し、メドレーリレーで銀メダルを獲得した愛敬彰太郎君(桑名)も400m第8位入賞を果たしました。彼以外の400mの世界ユース組も、今大会では苦戦を強いられていました。秋の国体での巻き返しを楽しみにしています。

伊賀白鳳の西山雄介君は1500mで第8位に入賞。名伯楽・町野英二先生の指導の下、順調に強くなってきています。高林祐介選手のようなスケールの大きな競技者に成長することを願うばかりです。5000mWで第6位に入賞した岩橋裕真君(鳥羽商船高専)も山田英生先生の的確な指導でメキメキと頭角を現しました。有力選手が数多く失格する中で、冷静なレース展開で入賞を射止めています。

男子リレーでは、4×400mRで桑名工が第5位に入賞するとともに、県新記録を樹立しました。4×100mRの無念をマイルにぶつけ、最初から果敢に攻める若者らしい走りで先頭争いを繰り広げました。来年は、四日市工・宇治山田商・桑名を中心に、三重県の男子の両リレーの戦力が充実しています。複数の学校の決勝進出、上位入賞、そして、優勝を期待しています。

皆様のおかげを持ちまして、今年の全国高校総体も終了いたしました。ありがとうございました。来年に向けての戦いはすでに始まっています。皆様のますますのご活躍をお祈りいたします。

追伸 陸上部の顧問の方々へ

県高校駅伝大会の書類は新人大会でお渡しします。今年も多くの学校が参加していただければ幸いです。試走、そして部活動全般にあたっては、安全面を十分に配慮して実施していただきますようお願いいたします。

「平成23年度 全国高校総体 三重県入賞者一覧」

**第2位** 女子200m 伊藤 瑞希 (四日市商) 24秒47 (0.0)

**第3位** 女子100mH 辻 彩美 (桑名) 13秒89 (0.0)

**第5位** 男子200m 諏訪 達郎 (四日市工) 21秒38 (-0.4)

男子4×400mR 桑名工 3分12秒09 (県新) (県高校新)

(山室勇太 水谷拓也 稲垣夏生 松尾慎太郎)

**第6位** 男子5000mW 岩橋 裕真 (鳥羽商船) 21分46秒16

**第7位** 男子100m 諏訪 達郎 (四日市工) 10秒75 (-0.5)

**第8位** 男子400m 愛敬彰太郎 (桑名) 48秒59

男子1500m 西山 雄介 (伊賀白鳳) 3分50秒26

女子200m 橋爪 咲奈 (宇治山田商) 25秒06

2位① 3位① 5位② 6位① 7位① 8位③ 延べ9種目 11名入賞

(昨年度 優勝① 2位③ 3位① 7位① 8位② 延べ8種目 7名入賞)

県別対抗 女子 第15位 14点 (2位① 3位① 8位①)

男子 第16位 15点 (5位② 6位① 7位① 8位②)

(昨年度 県別対抗 女子 第8位 24点 男子 第20位 15点)